

科目名 (科目番号)	障害者の心理 (063681)	教員名 山本哲也	学科等	理学療法	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		木3	第一キャンパス	
授業概要	一言で「障害」といっても、生まれながらに障害を負った人、加齢や病気、自己等により障害を負った場合など、その理由は異なっている。本講義では、障害を負うことによる心理的メカニズムの一端を学習することにより、障害のある人の気持ちに配慮した支援について考えていく。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	オリエンテーション	到達目標:オリエンテーション 学習内容:				
	2	先天性障害とそれに伴う心理的影響(1)感覚障害	到達目標:生まれながらの感覚器官の障害が人の心理に与える影響について理解する。 学習内容:「見えない」「聞こえない」ことの意味について考える。				
	3	先天性障害とそれに伴う心理的影響(2)知的障害・発達障害	到達目標:生まれながらに知的障害や発達障害が人の心理に与える影響について理解する。 学習内容:知的障害や発達障害を負うことの意味について考える。				
	4	先天性障害とそれに伴う心理的影響(3)難病等	到達目標:生まれながらの病気と長期療養が人の心理に与える影響について理解を深める。 学習内容:難病を負うことの意味について考える。				
	5	中途障害とそれに伴う心理的影響(1)障害者を負うとは	到達目標:事故や病気により障害を負うことが人の心理に与える影響について理解する。 学習内容:先天性の障害と中途障害の相違について考える。				
	6	中途障害とそれに伴う心理的影響(2)障害受容の諸理論	到達目標:障害受容の諸理論について理解する。 学習内容:障害受容の諸理論について、専門職として、その意味について考える。				
	7	中途障害とそれに伴う心理的影響(3)高次脳機能障害	到達目標:高次脳機能障害が人の心理に与える影響について理解する。 学習内容:高次脳機能障害を負うことの意味について考える。				
	8	まとめ 障害のある人の気持ちに配慮した支援	到達目標:これまでの講義を踏まえ、専門職としての障害のある人への支援について理解する。 学習内容:心理的問題を抱える障害のある人に対する支援について考える				
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
成績評価の方法・基準	課題レポート(100%)の結果により総合的に評価する。						
教科書	特に指定しない。						
参考図書	必要に応じて適宜指定する。						
教員からのメッセージ	資料の配付等にGoogle Classroomを使用します。学内メールアカウントとパスワードを事前に確認しておいてください。 提出された課題レポートは、コメントを付して返却します。なお、必要に応じて授業の内容を変更することがあります。						